

# さんま通信

## 夏



厚生中央病院だより 第69号 2022年



## 带状疱疹

皮膚科 医長 山本 真実

我が国の带状疱疹の罹患率は右肩上がりが増えていきます。带状疱疹は水ぼうそうのウイルスが原因です。主に子供の頃に罹った水ぼうそうのウイルスは体内の神経節に潜伏しています。带状疱疹は、加齢や疲労、ストレス、免疫抑制をきたすような治療などにより、免疫力が低下した際に、体内に潜伏していた水ぼうそうのウイルスが再活性化することにより生じます。50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が带状疱疹になるといわれています。水疱などの皮膚症状の他に、神経痛を生じ、带状疱疹後神経痛として長期にわたり痛みが続いてしまうことがあります。带状疱疹後神経痛は、生活の質を著しく低下させてしまいます。50歳以上では、約2割の患者さんで带状疱疹後神経痛が生じるといわれております。また、顔に带状疱疹ができると、目の合併症、顔面神経麻痺、めまい、耳鳴り、難聴など、重篤な合併症を生じることもあります。そのため、带状疱疹に罹ったら、早期に抗ウイルス薬等による治療を開始することが重要となります。

さらに、50歳を過ぎたら带状疱疹の予防接種を受けることができます。带状疱疹のワクチンには、2016年に認可された“弱毒生水痘ワクチン”と2020年に認可された“不活化ワクチン”の2種類があります。右の表のとおり、各々带状疱疹の発症予防効果が報告されています。高齢化や小児の水痘ワクチン定期接種化に伴い水痘流行が減少したことで曝露機会が減った影響もあり、今後さらに带状疱疹の増加は予想されます。带状疱疹の予防接種をご希望の方は、一度当院の皮膚科外来または総合内科外来にご相談ください。

	弱毒生水痘ワクチン	不活化ワクチン	
商品名	乾燥弱毒生水痘ワクチン「ピケン」®	シングリックス®	
带状疱疹発症予防効果	51.3% <sup>1)</sup>	50歳以上 97% <sup>2)</sup> 70歳以上 90% <sup>3)</sup>	
接種回数	1回	2回 (1回目接種後、2か月後に2回目接種)	
接種方法	皮下注射	筋肉注射	
費用	一般	1回 8,800円	1回 27,000円
	全国土木建築 国民健康保険 組合被保険者	1回 5,000円	1回 20,000円
長所	安価、1回接種のみ	免疫力を抑える治療をしている方でも接種可能	

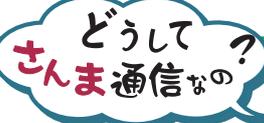
1) Oxman MN, et al., 2005. 2) Lal H, et al., 2015.  
3) Cunningham AL, et al., 2016.

### 目次 contents

带状疱疹 ..... 1

小児外来 ..... 2~3

和痛分娩始めました！ ..... 4



目黒で野駟けをしていた殿様が、初めて召しあがる“さんま”にいたく感激。お城で再び食べてみたが、美味しくない。即座に『さんまは目黒に限る！』当院も“目黒のさんま”でありたいとの願いを込めて。

# 小児外来

## 小児科

医長 赤松 信子

小児科学会専門医  
アレルギー学会専門医  
小児感染症学会小児感染症認定医

近年小児において「アレルギー疾患」「頭痛」が大きなトピックとなっています。当科で積極的に診療しているこの2分野に関し、お話をさせていただきます。なお、当院ではアレルギー疾患に対しては日本アレルギー学会認定アレルギー専門医が、頭痛に関しては日本頭痛学会認定頭痛専門医が診療を担当しており、より専門性の高い診療を受診することが可能で、個々の患者さんの症状に合わせた診療を幅広く行っています。

### アレルギー疾患について

食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎・結膜炎が代表的な疾患です。総合的に診ていくことが重要です。ここでは「食物アレルギー」を中心にお話をさせていただきます。

食物アレルギーとは、「食物を摂取した後、体への不利益な反応がおこること」です。採血検査は診断の補助にはなりますが、採血だけでは診断できません。正しい診断には「原因と考えられる食物を食べて症状がでるかどうか」の確認が必要です。食物経口負荷試験（oral food challenge, OFC）は食物アレルギーの確定診断、安全に摂取できる量の決定や日常摂取量を食べられるようになった（耐性を獲得した、といいます）かの確認を目的に行われます。食物アレルギーの基本的な治療は「必要最低限の原因食物の除去」であり、OFCを定期的を実施することで、「どれだけ食べることができるか」を確認し、自宅で摂取可能な量を摂取し続けることで、食べられるようになること（耐性化といいます）を目指します。アナフィラキシーの既往があるリスクの高い児でも、総負荷量を少量から段階的にOFCを行うことで、完全除去になる児を減らすことができます。少量でも原因食物を摂取できれば、耐性化を促進させ、微量混入によるアナフィラキシーのリスクを軽減する可能性も示唆されています。自宅での摂取状況や症状が出現した時の症状などを伺い、情報共有をすることが、適切な管理と治療に繋がります。当院でも積極的にOFCを実施し必要に応じて栄養士による栄養相談を実施するなど、一貫した診断・治療を行っています。

その他、アトピー性皮膚炎に対する丁寧なスキンケア指導・軟膏塗布指導、アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法等も実施しています。

### 頭痛について

頭痛は子どもが訴える身体の不調の中で非常に多い訴えの一つですが、小児科の頭痛専門医が対応できる医療機関は全国的に希少です。子供の頭痛は、軽症なものから学業や生活に支障を来

たすような重症の頭痛まで、程度は様々です。頭痛に伴って、めまい、耳鳴り、目の見え方がおかしい、手足を動かしにくいなどの多彩な症状がみられることもあります。頭痛の原因は多様ですが、中には仮病と勘違いされて苦しんでいるお子さんや、鎮痛薬を連日服用し、薬の飲みすぎによる頭痛を引き起こしていることもあります。こうした頭痛に苦しんでいる子どもの要望に応えるために頭痛専門医による小児頭痛外来が開設されています。まずは頭痛を二次的に起こす病気を除外することが大切です。その上で、頭痛の原因を見極め、鎮痛薬の選択、服用のタイミング、予防薬の必要性など頭痛との向き合い方を検討します。頭痛が原因で学校に行くことが難しいお子さんには、臨床心理士によるカウンセリングをご提案する事もあります。頭痛の悩みは十人十色ですので、一人一人に合った治療を模索し、頭痛とうまく付き合う方法を一緒に見つけていくことができればと考えています。

また、当院では河島病院長（東京医科大学小児科・思春期科学分野名誉教授）による特別外来もあります。このように、当院では各種専門医による診察が可能となっています。少しでもご不安があればいつでも気軽にご相談ください。



## 厚生中央病院 小児科

	月	火	水	木	金	土
午前	赤松	赤松	赤松	赤松	森下	交代制
	森下	東京医大	東京医大	森下 (頭痛外来)	東京医大	
午後	赤松***	赤松***	赤松***	・特別外来 (第1・3) ・2か月健診 (第2・4) (河島)**	森下 (頭痛外来)	
	森下	東京医大	東京医大	赤松・森下	東京医大	
	予防接種	予防接種	予防接種	予防接種	予防接種	
	乳児健診*	乳児健診	乳児健診	乳児健診*	乳児健診*	

- \* 乳児健診：月・木・金は栄養士が常駐。栄養相談が可能。
- \*\* 河島病院長（東京医科大学小児科・思春期科学分野名誉教授）外来。完全予約制。
- \*\*\* アレルギー相談は随時受け付けています。

森下 那月美  
小児科学会専門医／頭痛学会専門医／「子どもの心」相談医

### <その他>

- ▶ 予防接種（定期・任意）：完全予約制
- ▶ 乳幼児健診：完全予約制。当院で出生した児を中心に、発達の確認・子育ての指導といった定期健診の実施。また、2か月健診や1歳健診（自費）にも対応。
- ▶ 低身長：低身長精査実施可能。成長ホルモン分泌不全性低身長やSGA性低身長と診断されれば、その疾患に対する治療などにも対応。
- ▶ 河島病院長（東京医科大学小児科・思春期科学分野名誉教授）による特別外来、2か月健診（完全予約制）を実施しています。

## ●●●和痛分娩始めました！●●●

当院では妊婦様のご要望にお応えして2022年6月より和痛分娩を開始しました。そこで、今回は当院での和痛分娩についてご紹介します。

### 和痛分娩について

出産方法のなかには、陣痛や分娩時の痛みを和らげる方法があります。痛みの感じ方には個人差がありますが、痛みや分娩に対する不安・恐怖といったストレスが分娩の進行を遅らせる原因となることもあります。麻酔によって痛みを緩和することでリラックスしてお産に臨めるようにするのが和痛分娩という方法です。一般的に「無痛分娩」として知られていますが、当院では痛みを和らげるという意味で「和痛分娩」と呼んでおります。当院では、計画分娩（分娩予定日前に日程を決め、子宮収縮剤を使用し分娩を進める方法）が可能な方を対象として、各月に限定人数のみ予約制で和痛分娩を行っています。なお、和痛分娩は自由診療となり、通常の出産費用とは別に和痛分娩費用がかかります。



### 和痛分娩の具体的な方法

硬膜外麻酔：麻酔はすべて麻酔科医師が担当します。腰から注射する局所麻酔法の一つで、背中から管を入れて局所麻酔薬や麻薬系鎮痛剤を投与する方法です。分娩経過中、痛みの緩和を希望される時から麻薬系鎮痛剤を持続的に投与します。痛みが出てきたら、ご自身の意思で痛み止めを追加することもできます。

### 硬膜外麻酔のメリット

当院の和痛分娩は硬膜外麻酔で行っており、使用する麻酔薬の量も非常に少ないので、これらの薬剤が胎盤を通過して赤ちゃんに移行し、赤ちゃんに元気がなくなるなどの影響はほとんどありません。分娩の経過中に母児の状態に問題が生じ、急に帝王切開が必要になった場合には、同じ麻酔方法で行うことができるため、速やかに対応することが可能です。また、分娩後の回復も早く、体力が温存できます。

### 硬膜外麻酔の注意点

和痛分娩の鎮痛効果には個人差があります。麻酔後も運動機能は保持されますので、ご自身で「いきむ」ことは可能です。この麻酔の効果により産道の筋肉の緊張も和らぎ、分娩所要時間は短縮され分娩時の傷も少なくなります。しかしながら、十分にいきめなくなる場合があります。その際には「吸引分娩」などが必要になることがあり、これにより母児に合併症が生じることがあります。

和痛分娩予定日より前に陣痛が始まったり破水したりした場合には、和痛分娩は実施できません。

### 費用

分娩費用：初産婦 56万～60万  
：経産婦 42万～46万  
(ふたりめから割引5万円の適用後金額)

和痛分娩費用：約13万円

※現在和痛分娩は経産婦さんを対象としております。

※全国土木建築国民健康保険組合の方は分娩費用・和痛分娩費用がおよそ半額になります。

ご興味のある方は、  
当院産婦人科外来へ  
お問い合わせください。



厚生中央病院 **さんま通信** No69 2022

発行元：総合病院 厚生中央病院 地域連携広報室

〒153-8581 東京都目黒区三田1-11-7  
TEL：03-3713-2141 FAX：03-3713-8021  
E-mail:renkeisitu@kohseichuo.jp  
URL <http://www.kohseichuo.jp>